

マドリーム通信

在スペイン日本国大使館附属
マドリッド日本人学校
文責 堀内正樹
平成30年9月4日 No. 6

失敗の反対は？

2学期が始まりました。夏休みには素敵な思い出ができたことと思います。夏休みに経験したり、感じたりしたことをしっかり振り返って2学期に活かしてほしいと思います。2学期はいちばん長い学期です。大きい行事もあります。行事や様々な活動や日頃の生活のなかで子どもたちが「うまかったなあ」「大成功だった」という経験をたくさんしてほしいと思います。

さて、「成功」の反対は何だと思えますか。「成功」の反対は「失敗」なのでしょうか。「失敗」と考えてしまうとその先には何もなくなってしまいます。子どもには未来があります。周りの大人で「失敗」をしないで大人になった人はいないはずで、失敗してもまたチャレンジすることができます。何度も失敗しないように深く考えることができるようになります。

昔、コックスという学者が、偉業を成し遂げた歴史上の人物と一般の人たちの違いをいろいろと調べたのだそうです。性格的な特徴も含め、調査項目は67項目に及びましたが、その大半についてほとんど差異は認められなかったそうです。また、偉人が学校の成績は必ずしも良いとは限らなかったそうです。

コックスによれば偉人と一般の人の違いは以下の4点に集約されます。

- ①遠くの目標を視野に入れ努力していること。
- ②いったん取り組んだことを気まぐれにやめないこと。
- ③意思力の強さ。粘り強さ。
- ④障害にぶつかっても、あきらめずに取り組むことができること。

この4点です。

改めて、「成功」の反対は何だと思えますか。

成功の反対は「何もしないこと」なのではないでしょうか。失敗しても、何がいけなかったのかを考えて次にチャレンジしてください。うまく行かないことがあってもへこたれない力(立ち直っていく力、レジリエンスとも呼ばれます)を身につけていきたいですね。

この2学期、自分の能力を発揮していろいろなことにチャレンジしてください。



9月の予定

1	土	運動場草取り(盆踊り大会に向けて) 9:30
2	日	
3	月	始業式
4	火	夏休み作品展 16日まで
5	水	給食
6	木	
7	金	漢検・英検申し込み校内で切り 部活動
8	土	
9	日	実力テスト 盆踊り大会
10	月	振替休日
11	火	中学部基礎コン(計算)
12	水	給食
13	木	
14	金	部活動
15	土	
16	日	家族参観日
17	月	振替休日
18	火	
19	水	給食
20	木	
21	金	部活動
22	土	
23	日	
24	月	中学部補充学習
25	火	中学部補充学習
26	水	中学部補充学習 避難訓練
27	木	中学部補充学習
28	金	中学部中間テスト 講師招聘学習 部活動(小のみ)
29	土	
30	日	

地域の皆様とともに

●盆踊り大会に向けての草取り

9月1日(土)に盆踊り大会に向けて、日本人会・水曜会・日本人学校の皆さんによる運動場の草取りが行われました。暑い中ご協力いただきましてありがとうございました。作業が



終わった後は、運動場がきれいになったとともに、清々しい気持ちになりました。

●2018 マドリッド盆踊り大会

毎年皆さんが楽しみにしている盆踊り大会が、今年も下記の要領で開かれます。

- ・日時 9月9日(日) 19:00~23:00
- ・場所 マドリッド日本人学校運動場
- ・児童生徒ダンス披露 19:45

今年も開催時期が例年と違うため少人数でのダンス披露となりますが、精一杯演技いたします。応援よろしくお願ひいたします。当日は保護者の皆様にも子どもたちの出演に関しましてご協力をいただくことになるとお願ひいたします。よろしくお願ひいたします。

なお、翌日10日は休業日を振替えますので学校は「おやすみ」です。



マドリッドの学び

●夏休み作品展

夏休み期間中に子どもたちが取り組んだいろいろな作品をホールに展示しております。

期間は9月4日~9月16日です。

どの作品も力作ばかりです。是非お立ち寄りいただき子どもたちの夏休みの学習の跡をご覧ください。



理科・社会科・家庭科等の内容から自分でテーマを決めて調べたり、観察したり、実験したり、実際に作ったり

して確かめたことを分かりやすく丁寧にまとめてあります。

見ごたえのある作品ばかりでつい立ち止まって見入ってしまいます。

お気軽にお越しください。



派遣教員のつぶやき

「続けることについて語るときに僕の語ること」

村山 次郎

夏休みが終わりました。マドリッドのホールに入れば、今日も力強く書かれた「継続は力也」の言葉が私たちを迎えてくれます。私が、この言葉の意味を少し理解できたのは、つい最近のことです。

教職1年目、子どもたちとの関係はもちろん、学級、授業、全てが上手く進まず、自信を喪失する毎日。その頃、同学年を担当する先輩教員は、毎朝子どもたちと運動場を走っていました。今でも師匠であるその先輩教員から、「村山さんも朝走らへん？クラスが変わってくるよー。」と勧められました。しかし、目の前の業務に忙殺されていた私は、その意味が全く分からず、時々走ってみてはまた休み…、といったことをしていました。

3年目、再びその先輩教員と同じ学年、6年生を担当することになりました。私は、5年生からの持ち上がり担任です。5年生担任時にも学級づくりが上手くいかず、何かを変える必要があると感じていた私は、ついに毎朝走ることに決めました。そして、風の日も、風邪の日も(雨の日休み)、毎朝、子どもたちと走り続けました。その年の最後の懇談会、あるお母さんからこんなことを言われました。『うちの子が、「先生、熱があっても走ってたで。すごいやろ。」って言ってました。』と。何かが変わってきたような気がしました。

それから、学級担任外の担当をするまでの5年間、毎朝、子どもたちと走り続けました。スペインに来た今でも、休日には5kmほど走っています。1kmすら走ることが嫌だった自分を「続けること」が変えてくれたのです。それは、

・長い距離を当たり前のように走ることができるようになった。(当たり前は徐々に変わる。)
・しんどいことにも向き合える自分に(少しですが)なれた。

という自分自身でも驚きの、でも、実感が伴った変化でした。そして、学級を変えたいと願っていた私は、変わったのは自分自身だったことに気づくのでした。

「毎朝、走るぐらいのしんどいことをできない人が、何かを変えられるわけがないと思ってんねん。走ることは、単純やから子どもともできるし。」

「長く走るよりも、速く走るよりも難しいことがある。それは、続けること。」

先輩教員の言葉です。「継続は力也」の意味をほんの少し理解できるようになった今、当時の記憶がより鮮やかに刻まれていくような気がするのです。

